



未来広がる 土曜日



子どもたちの未来を 地域で育てる

国立大学法人信州大学の2022年の調査によると、全国の自治体の約1割にあたる170自治体が子どもたちへの学習支援を目的とした公営塾を設置していて、毎年その数は増加しているそうです。公営塾が設置される目的は、過疎地域での学習環境不足の解消や、子どもたちの基礎学力の底上げ、さらには魅力的な教育プログラムによる地域活性化など、さまざまです。

市では「学校・家庭・地域連携推進事業」に取り組み、地域全体で子どもたちの学びや成長を支える活動を実施しています。この事業の一環として、子どもたちに学習の場を提供し、学習習慣の確立と基礎学力の定着を目的に「うわじま土曜塾」を開講しています。

今回は、うわじま土曜塾に関わる人々たちへのインタビューを通じ、地域ぐるみで子どもたちの未来を育てることへの思いを特集します。

うわじま土曜塾って？

「勉強が少しでも分かるようになりたい」「学力を伸ばしたい」という小学4年生から中学3年生までを対象に、学校が休みの土曜日に、市内6つの公民館で学習支援を実施しています。

一人一人に合わせた
きめ細やかな指導

うわじま土曜塾では、少人数指導に特化しています。子どもたちにきめ細やかな指導を行えるように、おむね4人の塾生に対し1人の指導スタッフを配置しているのです。分からない箇所や気になった点をその場ですぐに質問できます。大人数での学習では、質問しづらい場合もありますが、塾生同士や指導スタッフとの距離が近く、リラクセスした雰囲気の中で学習することができます。

指導スタッフも元教員や塾講師など経験豊富なので、塾生一人一人の理解度に応じて、分かりやすく指導してくれます。



1月31日(土)			
あいさつ 課題・配布物 確認について	9:00~ 9:10	3 英語 (基礎)	11:00 ~11:20
1 国語	9:10 ~9:55	4 宿題	11:20 ~11:45
2 算数	10:05 ~10:50	片付け 今日の振り返り あいさつ	11:45 ~12:00



さまざまな体験で可能性を広げる

うわじま土曜塾では、勉強だけでなくさまざまな体験を通して、子どもたちに、豊かな人間性や自ら学び考える力を育んでもらうため、年に2回、体験学習を行っています。

①宇和島美容学校の指導による美容教室 ②魚釣りゲームやプログラミング操作を体験したドローン教室 ③フラダンスにも挑戦したハワイの文化教室 ④液体窒素による化学反応を体験した四国ガス実験室



①



②



③



④

勉強に自信。夢を目指して

うわじま土曜塾に通う子どもたちに、受講した感想と将来の夢について話を聞きました。

勉強への集中力をつけ、学校の勉強がもつとできるようになりたいと思っています。参加しました。うわじま土曜塾では、一人一人のペースに合わせて丁寧に教えてもらえるので、苦手だった教科もできるようになりました。体験学習では、液体窒素を使った実験など普段は経験できない貴重な体験ができました。

将来は、みんなの暮らしの安全を守る警察官になりたいと考えています。夢をかなえるために、これからも頑張っていきたいです。



和霊小学校
6年 清家 鈴さん

小学4年生から、うわじま土曜塾に通い、基礎をしっかりと学んだことで学力が安定し、勉強に自信を持てるようになりました。他校の生徒とも交流でき、良い刺激になりました。体験学習では、地元の大工さんの指導で木のコースターを作るなど、地域の人たちの交流も印象的でした。

将来は船員である祖父と父の姿に憧れ、船員を目指しています。うわじま土曜塾で学んだことを生かし、高校生になっても夢に向かって努力を続けたいです。



城南中学校
3年 中里 定晴さん

大人にとっても学びの場

うわじま土曜塾を通じて地域の子どもたちと関わることへの思いについて、
スタッフに話を聞きました。

うわじま土曜塾

スタッフ

白石敬子さん



元々小学校の教員をしていて、退職後も子どもたちと関わりながら地域に貢献したいと思い、スタッフになりました。

子どもたちが問題を解けるようになり、少しずつできることが増えていく瞬間に立ち会えることにやりがいを感じています。しかし、子どもたちが勉強に集中できない日もあります。その際は無理に勉強をさせず、気持ちの前向きになるまで見守るよう心がけています。他にも、パズルやクロスワードといった

ゲーム性を取り入れるなど工夫して、子どもたちが楽しく学べる環境づくりに努めています。

スタッフは仲が良く、教育について語り合う機会も多いので、教育に関心のある人の仲間づくりの場にもなります。何より子どもたちからは元気をもらえるので、子どもや教育に興味のある人はぜひスタッフとしてご参加ください。

うわじま土曜塾は少人数制でアットホームな雰囲気なので、学校に通いづらい子からも「うわじま土曜塾なら通いやすい」という声があります。学習の場というだけでなく、子どもたちの居場所にもなっただけです。また私たちスタッフにとっても、子どもたちと一緒に学び合い、成長できる大切な場所です。

一緒に学びながら成長していく

うわじま土曜塾で子どもたちに勉強を教える高校生サポーターに話を聞きました。

うわじま土曜塾

高校生サポーター

福島櫻也さん



教員を目指していて、子どもたちと関わりながら、何か地域のために自分にできることがないか考えていました。そんな時、学校を通じてうわじま土曜塾でのサポーターの話聞き、参加しました。

月に1〜2回、公民館で、小学生に国語と算数を教えています。塾生たちとは年齢が比較的近いため、少しでも話しやすく感じてもらえたらうれしいです。

人に何かを教えることが得意ではないので、どうすれば子どもたちに分かりやすく伝

えられるか、いつも考えています。参加当初は戸惑うことも多々ありましたが、スタッフの皆さんが優しくアドバイスしてくれ、安心して子どもたちへの教え方や接し方を学ぶことができました。今では、自分自身が成長を実感する場にもなっています。自分と同じように「子どもと関わりたい」「教員になりたい」という夢を持つ若い人にも、ぜひ参加してみてください。

体を動かすことも好きなので、勉強だけでなくスポーツを通じて地域の子どもたちと交流することもできたらいいなと思います。これから教員になるという夢に向かって、子どもたちと一緒に学び、成長していきたいと思っています。

地域ぐるみで子どもたちを支援

うわじま土曜塾に通う子どもの保護者に、受講後の子どもの変化や感想を聞きました。

うわじま土曜塾
塾生保護者
鈴木早紀さん

小学5年生の娘がうわじま土曜塾に通っています。算数が苦手です、学校の授業や以前通っていた塾では分からないところを聞きづらく、つらいと訴えることもありました。そんな娘にどう接するべきか悩み、時には叱ってしまふこともあった中、うわじま土曜塾を紹介され、4年生から通わせることにしました。

ができました。またスタッフの皆さんをはじめ、体験学習などで地域の人たちと交流することで社会性が身に付き、何事にも積極的になりました。もともと生き物が好きな娘は、学習に自信がついたことで、水族館の飼育員という夢に向かって、取り組んでいます。

勉強方法や子どもとの接し方に悩む家庭もあると思いますが、抱え込まず誰かに頼ることも大切です。うわじま土曜塾は、地域ぐるみで子どもを支えています。



令和8年度 うわじま土曜塾 塾生募集

令和8年度も塾生を募集します。

詳細は4月に、市ホームページ、広報うわじま4月号、各学校から配布する入塾のお知らせに掲載します。

■対象

- ①市内の小学4～6年生
- ②市内の中学生

■料金

無料(テキスト代含む)



■定員(予定)

- ▷鶴島教室(鶴島公民館)：①20人 ②20人
- ▷明倫教室(明倫公民館)：①20人
- ▷和霊教室(和霊公民館)：①20人 ②20人
- ▷吉田教室(吉田公民館)：①15人 ②15人
- ▷三間教室(三間公民館)：①15人 ②15人
- ▷岩松教室(岩松公民館)：①15人 ②15人

■申込方法

4月上旬に市ホームページに掲載する専用フォーム

一緒に子どもたちへの学習支援をしてくれるスタッフも募集しています。詳しくはお問い合わせください。

また、うわじま土曜塾では毎週塾便りを発行しています。ぜひご覧ください。



ID: 0118470

問 生涯学習課生涯学習係 ☎49-7032

子どもも大人も 学び合う 大切な場所

うわじま土曜塾に通う子どもたちに将来の夢を尋ねると、「スポーツ選手」「医師」「薬剤師」「栄養士」「公務員」「声優」「プロゲーマー」「闘牛のトレーナー」「たくさん勉強してじっくり考えたい」など、さまざまな答えが返ってきました。

子どもたちは、うわじま土曜塾で勉強だけでなく、地域の人や一緒に学び合う友だちとの交流、そして普段なかなか経験できない体験学習など、豊かな学びに触れながら、将来なりたい自分に向かって努力を続けています。また、うわじま土曜塾は、子どもたちだけでなく、関わる地域の人たちにとっても学びや交流の場になっています。

宇和島では、未来を担う子どもたちが夢に向かって羽ばたけるように、地域全体で支えています。子どもも大人も共に学び合い、未来が広がる場所「うわじま土曜塾」にぜひ参加してみてください。

